

# II

## 全体構想

# 第 1 章

## 水戸市の概況

### 1 位置・面積

本市は、東京から約 100 キロメートルの距離にある茨城県の県庁所在都市で、関東平野の北東端に位置しています。市域面積は 217.43 平方キロメートルで、近代的建築物によるまちなみと千波湖・那珂川をはじめとする豊かな水や緑地等の自然、さらには偕楽園や弘道館などの歴史的資源が一体となり、まちを形成しています。

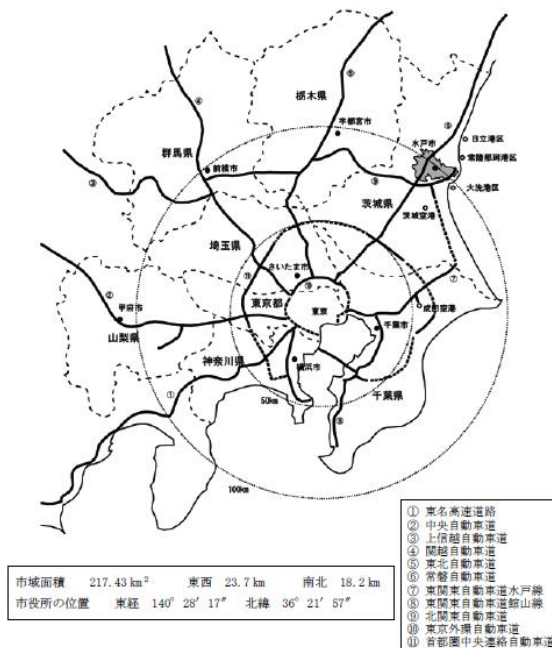
### 2 地勢・沿革

本市の地形は、那珂川を挟んで東西に伸びる沖積低地地区、市の中央から南部にかけて広がり、商業・業務機能を持つ中心市街地を形成する洪積台地地区、豊かな自然環境を有する市西北部の丘陵地区からなります。

水戸の「まち」は、江戸時代初めに徳川家の城下町として整備され、1889（明治 22）年に市制施行により「水戸市」が誕生しました。1945（昭和 20）年には、空襲により市街地の約 80%が焼失し、戦災復興土地区画整理事業が行われましたが、市街地の町割はほぼ藩政期以来のものが継承されています。

1970（昭和 45）年に、水戸市や勝田市を中心に、3市3町1村からなる「水戸・勝田都市計画区域」が指定されました。現在、本市の都市計画区域は水戸・勝田都市計画区域（596.83 平方キロメートル）の一部として指定され、市域全体が都市計画区域となっています。

図－1 首都圏における本市の位置



（資料：水戸市第 6 次総合計画－みと魁（さきがけ）プラン／水戸市）